

「学校キャラバン」始まる

戦略的
広報推進協 5校程度予定

国土交通省や建設業団体などで組織する建設産業戦略的広報推進協議会（事務局・建設業振興基金）は4月27日、東京都立葛西工業高校（江戸川区）で、生徒に建設産業の魅力などを直接語りかける広報活動を行い、2016年度の「学校キャラバン」をスタートさせた。写真。16年度は5回程度の実施を予定しており、普通高校や商業高校、小・中学校での開催も視野に入れている。



16年度初回の葛西工業高校では、女子生徒3人を含む建築科の2年生39人が参加。JMの中屋建二マーケティング本部長らが、さまざまな職種からなる建設業の仕事などを説明した。

学校キャラバンは、業界PRや入職のきっかけづくりなどを目的に14年度から継続的に実施中。今回で通算9校目となった。首都圏を中心に開催されているが、今後はだれでも利用できる作成済みの業界説明資料などの水平展開を図り、各地方にもキャラバン活動を広げていきたいと考えた。